

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	アルコール製剤皮膚消毒により発赤が出る患者への対応
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象者 : 2018年10月1日～2020年12月31日 過去にアルコール消毒により皮膚発赤の出た経験情報のある入院患者。
③概要	血管内留置カテーテル由来感染の予防のための CDC ガイドラインや WHO 手術部位感染予防のためのグローバルガイドライン等では、血管内留置カテーテル挿入時や手術部位の皮膚消毒薬にアルコール製剤使用が推奨されている。しかし一方で、患者よりアルコール消毒による皮膚発赤経験の訴えや情報があると、十分な情報収集や評価を行う事なく、発赤が出ればアルコール消毒は使用できないとの患者職員相互の認識から、アルコール製剤の使用が禁止となる現状が見られる。患者からの情報収集と患者説明を実施することで発赤のみ出現する患者に、ガイドライン等で推奨されているアルコール製剤使用が可能となるのか検証する。
④申請番号	01-025
⑤研究の目的・意義	ガイドライン等で推奨された消毒薬をすぐ使用回避するのではなく、情報収集や評価することで、使用できるのか評価し、適切な皮膚消毒により感染のリスクの軽減につなげる。
⑥研究期間	2018年10月1日～2020年12月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	国内学会報告
⑧利用または提供する情報の項目	対象者数（介入数） アルコール製剤による皮膚消毒禁止対象者のうち使用に繋がられた症例数
⑨利用の範囲	学会報告
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	医療安全管理室 目崎恵
⑪お問い合わせ先	魚沼基幹病院 医療安全管理室 目崎恵 m-mezaki @ncmi.or.jp